

物の花粉を集めるのがよい。手当り次第に集めてもよいが 樹木・草本の花粉または羊歯類の胞子というように花粉ばかりでなく胞子も同時に集めてゆくと自然に両者の形態上のちがいがわかってくる。

樹木の花というたいていの人はあまり気付かないようである。とくに目立つコブシ・ツバキ・ヤナギなどはともかく マユミ・ツゲなどの小さい花はいつの間にか咲きそして散ってゆく。私が花粉を採集していた頃花曆をつくってみたが 関東地方では5月から7月にかけて樹木の花が平地でもっとも多く咲き8月にもおよんでいる。花から花粉をとって紙の小袋に入れ 持ち帰ってすぐにプレバートを作るのだがその方法はあとで述べよう。ともかく手早くその口の中にやらないと腐るものもでてくる。植物の分類がしっかりとできている所 例えば農林省林業試験場や大学付属植物園などから標本をもらうことをおすすめする。花1つでは多すぎ雄しべ1本もらえばもてあます程標本がとれるのだからさほど先方には迷惑はかからぬはずである。こうして採取した標本は名前をはっきりとつけ保存しておくが

これがどんな方面をやるにしろ非常によい資料となるのはいうまでもない。植物の分類表と花粉の形とを比較してみると いろいろ面白いことがわかってくる。翼のある花粉は 裸子植物の針葉樹類に限られていたり四ツ球花粉は シヤクナゲ科のものが大部分をしめていたりする。

花粉分析という言葉の意味 花粉についての本を開けばすぐに花粉分析 (Pollen analysis) という術語が目に入る。この花粉分析というのは文字通り「花粉によって堆積物を分析する」ということであってむずかしいことではない。それがどんな種類の堆積物でもその中から花粉化石を取出す方法と理論とを云うのであって胞子化石を取出す場合とくに中生代以前の地層を取扱うとき胞子分析 (Spore analysis) ということもある。しかし一般に花粉分析というとその仕事の中に花粉と胞子両方の分析を含んでいる。この花粉分析はその試料を機械的・化学的に処理することにあるのだが そのやり方・内容の解釈などについては 次回以後にくわしく述べることにする。

(筆者は燃料部 石炭課)

学会 ニュース

読者各位のご要望により 今回から随時学会ニュースをお知らせいたします

日本古生物学会秋季例会開く

日本古生物学会では 下記のように秋季例会を開催する

日時 昭和37年9月28日(金) 9時から
演題 個人講演会

日時 昭和37年9月29日(土) 9時から
演題 「本邦における古第三系と新第三系との境界問題」について討論会

場所 東京教育大学
文京区大塚窪町 24
(都電・地下鉄 教育大前 下車)

物理探鉱技術協会・地震学会共催
昭和37年度秋期札幌大会開催

物理探鉱技術協会と地震学会共催で 右記の通り 秋期大会を札幌で開催する

会期 昭和37年9月22日(土)～

26日(水)

会場 札幌市 北海道大学理学部新館
参加費 150 円 (講演要旨・資料代を含む)

日程

日時	会場	行事	摘要
9月22日(土) 13.30~16.30	地球物理学教室	講演会Ⅰ	地震探鉱部門
9月23日(日) 9.30~16.30	高分教室 地物教室	講演会Ⅱ 講演会Ⅲ	純地震学部門 物理探鉱部門 (地震探鉱を除く)
9月24日(月) 9.30~12.30	高分教室 地物教室	講演会Ⅳ 物探シンポジウム	純地震学部門 とくに温泉地熱の探査について
9月24日(月) 14.00~18.00	札幌市内バス遊覧	観光ならびに懇親会	参加費 500 円
9月25日(火) 9.00~泊	昭和新山 洞爺湖	見学旅行 討論会	参加費 貸切バス 宿泊料共 1,700 円 札幌~中山峠~昭和新山~洞爺湖温泉 (泊)
9月26日(水) (朝)	現地解散		

日本鉱物学会 日本鉱山地質学会 日本岩石鉱物鉱床学会の3学会連合秋季学術講演会開催

3学会連合秋季学術講演会は 右記の通り 札幌市で開催する

期日 昭和37年10月17日~20日

10月17日 午前 特別講演(公開)
午後 個人講演

10月18日 午前・午後 個人講演
夜 懇親会

10月19日 午前 秋吉台・秋芳洞見学
~20日 午後 鉱山見学旅行

A班 桜郷鉱山
B班 金ヶ峠・長登鉱山

場所 山口市後河原
山口大学 文理学部

講演申し込み 9月15日 締切り

川崎市久本 135

地質調査所 砂川一郎宛

要旨(400字)・所要時間・スライドの有無と共に申し込むこと

宿舍等の申し込み 9月15日締切り

申し込み先 山口市後河原 山口大学

文理学部地学教室 富阪武工宛

宿 泊 A 320 円(学生) 370 円(一般)
(1泊2食付)

B 600~900 円 (〃)

C 1,000~1,500 円 (〃)

D 2,000~3,000 円 (〃)

懇親会 会費 600 円

見学旅行 (A班) 桜郷鉱山(人員15名経費約1,500円)

(B班) 金ヶ峠・長登鉱山(人員20名経費約1,200円)